

1.1-3 東京の放射能の影響は、将来使えない街になる等、都市伝説的な大げさな話か？

東京の放射能の影響は、まったく問題が無いと考えて良いでしょう。2015年7月現在の47都道府県のモニタリング状況は下記 URL から分かるように、各都道府県の代表都市では、福島市の最大 0.2 マイクロシーベルト/h に比して、大幅に小さくなっています。

http://radioactivity.nsr.go.jp/en/contents/11000/10059/24/192_20150728_20150729.pdf

東京都新宿区での測定値は 0.057 マイクロシーベルト/h です。この数値の所に居て常時被ばくしたとしても年間 0.5 ミリシーベルトです。この値は健康に問題ありません。国際放射線防護委員会(ICRP)では、100 ミリシーベルト以下の被ばくでは有意な放射線障害は見つかっていないと公表しています。

<http://www.unic.or.jp/news_press/info/7775/> 国際連合広報センター

因みに、100 ミリシーベルトの被ばくで、「ガンに罹って死亡する確率は 0.5%増加する」と言われており、もともと日本人のガン死亡率が約 30~40% ですので、それが、30.5~40.5%に増えることになるということで、“僅かながら、ガンになる確率が増える” ことになるということです。

(2015年7回答)

